

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	受託研究「Jリーグ」が主催する公式試合のスタジアム観戦者に関する調査
担当	吉田 政幸
実施日	2014年4月1日～2015年3月31日
対象者数	京都サンガのホームゲームの観戦者488名 カターレ富山のホームゲームの観戦者499名
場所	西京極陸上競技場 富山県総合運動公園陸上競技場
実施形態	プロサッカー観戦者を対象としたアンケート調査で、試合開始前にスタンド内で調査票を配布し、その場で回収する集合配布法
研究費概要	583,200円 (291,600円×2チーム) Jリーグスタジアム観戦者調査2014は、Jリーグ全体のトレンドを把握するとともに、クラブ間の比較を通じて各クラブの観戦者の特徴を掴むことを目的としている。本受託事業は、Jリーグクラブの中でも、京都サンガFCとカターレ富山のアンケート調査を担当するものである。調査では、①誰が(人口統計学的特徴、ファンとしての特性)、②どのように(観戦歴や観戦回数などの観戦行動、ファンクラブやグッズ購入などサポーター特有の観戦行動)、③何故(観戦動機などの社会心理的特性、満足度、愛着)観戦するのかという疑問について、詳細な調査結果を、クラブとリーグの両方に報告した。

記録(写真)

